

ましまの風

発行所 杵藤農林事務所杵島農業改良普及センター
 佐賀県杵島郡白石町大字東郷2546-2
 TEL0952-84-3625 FAX0952-84-6425
 E-mail : kitounourin@pref.saga.lg.jp
 URL : http://www.pref.saga.lg.jp/list02464.html

令和2年3月
第50号

21世紀の主演たち



時代が変わっても、 農業に対する熱い思いは変わらない



北原良太さん



山口駿さん

「令和元年度TK4Hアグリマネージメントクラブ冬のつどい」が1月22日に開催され、クラブ員6名が熱い発表を繰り広げました。

「農業青年の提言」では、5名の発表があり、最優秀賞に輝いた白石青年実業会の山口駿さんは、環境制御技術等を活用したトマトの高収量・高品質化やSNSやメディアを活用した認知度向上等に取り組み、佐賀県最高収量の34t/反の記録を塗り替えることや、白石と全国の消費者との架け橋となることなどの夢を熱く語られました。優秀賞には、白石の美しい田園風景を守るために、規模拡大等により耕作放棄地を減らしたいと発表された川崎貴文さんが選ばれました。優良賞には、新規野菜品目の導入や父の交雑牛肥育の技術継承を図り、儲かる農家になりたいと発表された喜多俊輔さん。キュウリトレーニングファームでキュウリの栽培方法を学び、いずれは施設キュウリで所得600万円を目指したいと発表された山中研二さん。「天使のイチゴ」という白イチゴ栽培の規模を拡大し、地域を代表する農家になりたいと発表された宮田光さんが選ばれました。

「経営発展プロジェクト」では、江北町農業新経営者クラブの北原良太さんが販売業者の都合で特別栽培A（無農薬・無化学肥料）の米の取引量が半減したことから、米の食味向上に向けた試験や販路の拡大の取り組みについて発表され、最優秀賞に輝きました。

最優秀賞の山口さんと北原さんは2月7日に白石町で開催される佐賀県農業青年冬のつどいで杵島地区代表として発表されます。杵島地区代表として堂々と発表を行ってください！

地域情報コーナー

2018年秋にデビューしたいちご新品種「いちごん」。今年管内のいちご栽培面積の約1/4の4.6haで作付けされ拡大が進んでいます。昨年産は、年内収量が少なかったことや、先青果・つのだし果の発生といった果実品質の問題があったことから、今年産は特に果実品質の向上を目的に採苗時期の検討や元肥試験に取り組んでいます。今年産は11月から順調に出荷が始まっており糖度が高い「いちごん」が出荷されているところです。

来年度以降も面積は拡大する見込みであり、今後も生産者、関係機関が一体となって「いちごん」の栽培技術確立に取り組んでいきます。



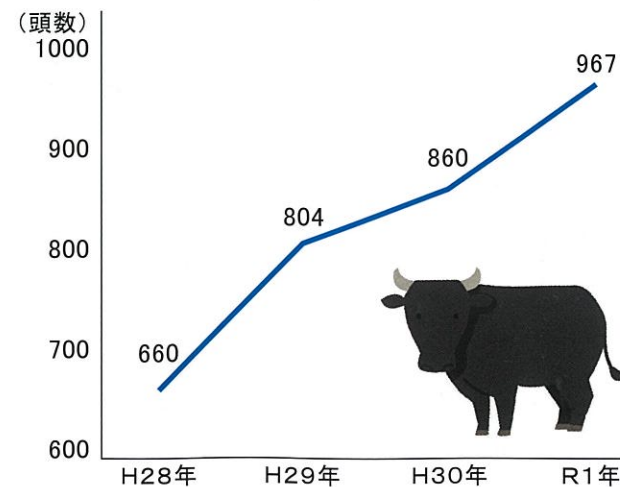
「いちごん」栽培面積拡大！



スイートピー栽培では、品種によって日照による日長延長処理が行われています。白石町のスイートピー圃場では、これまで家庭照明用の昼白色LEDが利用されてきましたが、平成30年、新たに赤色LEDを試験的に導入しました。調査の結果、赤色LED電照によって蕾や花が落ちる「落蕾」を軽減でき、切り花の秀品率が向上しました。今年度から、江北町のスイートピー圃場でも新たに赤色LEDを導入し、産地全体で収量向上が期待されています。

スイートピーの赤色LED電照

白石地区の繁殖雄牛飼養頭数の推移



白石地区の繁殖雄牛飼養頭数は967頭（令和元年10月時点）となり、3年間で約300頭の増頭が進んでおり、肥育素牛の生産基盤が急速に拡大しています。特に若い生産者が事業を活用し、計画的に規模拡大に取り組んでこられました。

普及センターではこれまで、若い生産者を中心に、子牛の発育測定や研修会の開催などによる子牛の発育向上の取組を行ってきました。今後は規模拡大の事例集を作成・配布し、規模拡大の際の留意点を管内畜産農家に紹介する予定です。

白石地区で繁殖牛が増頭中！！

佐賀農業賞 受賞者紹介

規模拡大による雇用型の施設 胡瓜栽培モデル



井上さんは江北町で施設キュウリ40aを栽培されています。就農当初は20aの面積でしたが、平成29年に20a増設を行い、みどり地区でもトップクラスのキュウリの販売金額を上げられています。また、農業士として研修生の受け入れも行っている。ただいま、地域のリーダー的存在として活躍されています。今後も雇用型施設キュウリ栽培のモデルの一つとして、地域農業の発展に貢献されることが期待されます。

先進的農業経営者の部 **優秀賞**
井上康之

牛と地域を大切にしたい 持続可能な酪農経営



古川さんご夫婦は武雄市で乳牛50頭を飼育されています。就農当初から牛に負担をかけない栄養管理、体格良好な種雄牛の交配などを実践することで乳量や分娩間隔は県内上位の成績を維持しながら、牛の見栄えを競う共励会でも数多く入賞されています。また、地域の子供達を食育学習に受け入れ、地域のつながりも大切にしたい酪農経営を目指されています。今後、優良な酪農経営のモデルとして地域農業への発展に貢献されることが期待されます。

若い農業経営者の部 **NHK佐賀放送局長賞**
古川豪樹・真弓

女性農業者が地域で輝き、いきいきと活躍できる環境を



白石レンコンをもっと消費者に届けたいと、全国の商談会に足を運んで独自に販売先を開拓してこられました。消費者ニーズに添えていくため、『黒木農園グループ』を結成し、安定した出荷量を確保。6次産業化にも積極的に取り組んでおられます。貴子氏は、佐賀県の農業女子有志で組織する「カチカチ農（の）楽（ら）がくる」の初代会長として、交流会や研修会を開催し若手女性農業者の人材育成を行い地域農業の発展に寄与されています。

地域農業活性化の部 **優秀賞**
黒木貴子・啓喜



情報提供

みんな 男女の活躍で農業・農村を元気にする シンポジウムの開催

農業・農村の活性化のため、11月7日に嬉野市のリバティでシンポジウムを開催しました。ママ友に呼びかけ集落営農のオペレーターになった兵庫県の女性や、県内で6次化等に取り組む女性から、「みんな」の活躍で地域の農業・農村が元気になった事例を紹介していただきました。管内からパネラーとして、ガチカチ農楽が「会長の黒木貴子氏や（株）たのしいお百笑さん代表取締役の大古場美由紀氏、アドバイザーとしてJA理事の森恵美氏からお話をいただきました。約150人の参加があり、参加者から「元気をもらえた、参考になった」等の声が聞かれました。「みんな」が、個性や得意分野を活かし、協力していくことで、地域活性化につながることを期待されます。



低利の借入れで経営改善。農業制度資金のご案内

○印が、その資金で活用できる事業です。詳しくは、JA、普及センターへお問い合わせください。

資金名	貸付対象者	貸付対象事業				貸付利率 (%) R元、12現在	償還期間 (年以内)	貸付限度額	備考
		農地取得	施設・農機具	家畜の導入・育成	長期運転・経営資金				
農業改良資金	国または県から各種計画の認定を受けた農業者等、認定農業者、認定新規就農者	○	○	○		無利子	12	個人 5000万円 法人 1億7500万円	新たな部門の開始や新たな技術や生産方式の導入などの場合
農業近代化資金	認定農業者	○	○	○		0.16～0.18	15	個人 1800万円 法人 2億円 ※原則事業費の8割以内	
	認定新規就農者	○	○	○		0.2			
	集落営農組織 主業農業経営者※	○	○	○		0.2			
農業経営基盤強化資金（L資金）	認定農業者	○	○	○		0.16～0.20	25	個人 3億円 法人 10億円	
農業経営改善促進資金（S資金）	認定農業者				○	1.5	1	個人 500万円 法人 2000万円	
農業経営負担軽減支援資金	農業経営改善推進計画の承認を受けた農業者				○	0.2	15	営農負債の額	
農林漁業セーフティネット資金	認定農業者 主業農業経営者 認定新規就農者				○	0.16	10	600万円または年間経営費等の6/12	
経営体育成強化資金	認定新規就農者 主業農業経営者	○	○	○		0.2	25	個人 1億5000万円 法人 5億円	
青年等就農資金	認定新規就農者	○	○	○		無利子	17	3700万円	

※主業農業経営者とは、農業所得が総所得の過半または、農業粗収益が200万円以上の農業者です。
※人・農地プランに位置付けされた方は、貸付から5年間は「無利子」となります。予算に限りがありますので、早めのご相談をお願いします。